

## 1 人権尊重に基づく男女共同参画の意識づくり

| 対象事業                                  | 現状・課題   | 意見  |
|---------------------------------------|---|---|
| 事業番号 1<br>人権教育、家事能力向上、<br>家族の役割と責任の学習 | <ul style="list-style-type: none"> <li>各小中学校で様々な取組を行っており、赤ちゃんとの触れ合い体験を実施している中学校もある。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>赤ちゃんに接したことがない中学生が多くいて、楽しそうに赤ちゃんと接している。また同時に、赤ちゃんは常に泣くものだとすることを体感することができる貴重な機会である。</li> <li>中学生にとっては、子育ての大変さを体験することで、若いうちから子育てについての理解がより進む。また、赤ちゃんを連れてくる親にとっては、将来の我が子の姿を想像できる機会になるので、全ての中学校に活動を広げてほしい。</li> </ul>   |
| 事業番号 11<br>“男女共同参画フォーラム”の開催／各種セミナーの開催 | <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な内容のフォーラムやセミナーを開催し、情報発信も行っているが、集客が課題である。(特に、若い世代は、男女共同参画に限らず、市の施策に関心が薄い。)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>フォーラムのような講演会は他人事の間接的感覚がある。また、男性にとって男女共同参画という言葉が聞くと、説教くさく感じられる方も多いのではないか。</li> <li>再就職支援セミナーの際には、セミナーと合わせて保育所の説明を受けられるようにすると良いのではないかと。</li> <li>身近な問題として感じられるような見出しを付けて、市民に関心を持ってもらうことが必要である。(例：LGBTのセミナーであれば、「制服についてどう思いますか?」というようなもの。)</li> <li>将来的には、男女共同参画という言葉が無くなっていくと良い。(男女という性差自体が問題、障壁とならない状況。)</li> </ul> |
| 事業番号 16<br>市民活動団体の支援                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画の啓発活動を行う団体のメンバー募集が課題である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの際に周知しているが、メンバー増加には結びついていない状況なので、老若男女問わず幅広いメンバーに参加してもらえるような工夫が必要である。</li> </ul>  |
| 事業番号 17<br>女性人材リストの充実                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>審議会等への女性の登用促進のための人材リストであり、市役所内でのみ活用しているが、現状は活躍の機会が少ない。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>人材リストの登録者が活躍できるよう、新たに以下のような活用方法を検討してはどうか。             <ol style="list-style-type: none"> <li>①人材リスト登録者をセミナー講師等で活用する。</li> <li>②人材リスト登録者に対し、市の施策等への意見を求める。(人材リストに登録すれば、意見を言える窓口になるということであれば、登録者も増えるのではないかと。)</li> </ol> </li> </ul>   |

## 2 男女が生き生きと働きともに支える社会づくり

| 対象事業                    | 現状・課題   | 意見  |
|-------------------------|---|---|
| 事業番号 19<br>審議会等への女性参画推進 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 審議会等の女性委員の参画率40%の目標を達成。</li><li>・ 市議会の女性議員が少ない。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 政治のことについて、身近な問題として各自が関心を持ち、男女問わず「自分のことは自分で決める」という意識を持つ必要がある。</li><li>・ 政治について、小さい頃から興味を持ってもらうために、小学校や中学校の決まった学年で、社会科見学として市議会の見学をするなど、身近に感じられるような取組を行ってはどうか。(女性市議増加のためだけでなく、投票率アップにもつながるのではないか。)</li></ul> |

## 4 女性が活躍できる社会づくり

| 対象事業                 | 現状・課題  | 意見   |
|----------------------|--|--|
| 事業番号 43<br>特別保育事業の充実 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 核家族や共働き世帯が多く、利用者が多い。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 病後児保育については、実施している保育園があるが、病児保育もあった方が良い。(仕事の都合などで、子どもが急に病気になっても休めない人もいる。)</li><li>・ 女性が働きやすい職場環境を整備する必要がある。また、子どもが病気になった場合などに、男性も仕事を休んで子どもを迎えに行けるような職場の理解があると良い。</li></ul> |